

第 68 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 4 年 4 月 27 日（水）午後 2 時 00 分から午後 2 時 15 分まで
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、古川副知事、鈴木副知事、企画理事兼商工労働観光部長、危機管理監、秘書課長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、京都府議会事務局長、教育監兼学校危機管理監、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局地域連携・振興部長、丹後広域振興局副局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催します。

本日は現在の感染状況等を踏まえ、今後の対応について協議いただくこととしています。

それでは、西脇知事に会議の進行をお願いします。

【知事】

まずはこの間、昼夜を分かたず医療現場で御奮闘いただいている医療従事者の皆様、高齢者施設や学校現場、保健所等の第一線で御奮闘いただいている皆様に、感謝を申し上げます。

昨日の新規陽性者数は 627 人、7 日間の平均が 843.71 人、前週増加比が 1.00 倍です。上昇傾向の後やや下がり気味となっていますが、ほぼ横ばいと考えています。ただ、昨年夏の第 5 波のピークよりも高い水準で推移をしています。医療提供体制については、25 日現在、確保病床の使用率が 18.4%、高度重症病床の使用率が 3.9%と、一定抑えられている状況です。しかし全国的には感染増加が継続しているところやさらに拡大しているところもあることから、次への置き換わりも懸念されます。

そうした中で、3 年ぶりに緊急事態のないゴールデンウィークが始まります。

本日は今申し上げたような状況も踏まえ、今後の対応について議論したいと考えています。まずは最近の感染状況等について、健康福祉部長から御報告をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき説明

【知事】

続きまして今後の対応について、危機管理監、健康福祉部長から順次、事務局案の御説明をお願いします。

【危機管理監】

※資料 2 に基づき説明

【健康福祉部長】

※資料 2 に基づき説明

【知事】

ここまでの説明について、専門家会議の松井議長から御助言をよろしくお願いします。

【専門家会議議長】

現在の新規感染者数は高止まりの状態ですが、重症患者が少なく、医療現場は逼迫している状態ではないと言えると思います。これは重症化率の高い高齢者の方々に、積極的に 3 回目の接種を受けていただいた結果というふうに評価しています。

多くの感染者がいる中で、これからゴールデンウィークを迎え、人と人との接触の機会が増えるわけですが、これは同時に感染の機会も増えるということを意味しています。自分が感染しない、他の人に感染させない、感染をひろげないための行動を一層心がけていただきたいと思います。

また重症化を防ぐために、まだ接種を受けていらっしやらない方、特に高齢者や基礎疾患をお持ちの方に積極的にワクチン接種を御検討いただきたいと思います。

以上です。

【知事】

引き続き医師会等とも連携し、感染防止対策に取り組んで参りたいと思います。

次に京都市の三科危機管理監からよろしくお願いします。

【京都市危機管理監】

先ほどからあるように、高止まりのまま 1 ヶ月を推移するという、初めての経験だと思います。ワクチン接種が一定効果を奏し、医療提供体制が押さえられていることはありがたいですが、やはりこうした経験則のないコントロールを継続的行っていくのが with コロナ社会であると実感しています。

ゴールデンウィークが明けてどうなるのか、また今後の感染拡大に備え、一番大事なテーマだと考えるファーストタッチについて、京都市としても第 6 波の急拡大の際には、感染者への連絡に時間を要した部分もありましたので、不安や混乱を回避するためにさらなる仕組みの改善に取り組んで参りたいと思います。

何よりも、感染された高齢者や基礎疾患のある方々がいち早く治療を受けられることが最重要かと思っていますので、府市の重要案件として、連携して取り組んで参りたいと思います。よろしくお願いします。

【知事】

緊急事態宣言のないゴールデンウィークは 3 年ぶりです。

多くの観光客が訪れる季節になるので、引き続き京都市と連携し、感染防止対策に取り組んでいく必要があると考えています。京都市の方にもよろしくお願ひしたいと思ひます。

その他に意見なければ、事務局案によって今後の対応を決定し、取り組むこととしたいと思ひます。

その他、各部局からの報告事項がなければ、本日の会議の総括を申し上げます。

まず、3月21日でまん延防止等重点措置が終了してからも引き続き、府民の皆様や事業者の皆様へに感染防止対策に御協力をいただひています。

また、病床の確保をはじめとした医療提供体制の拡充やワクチン接種の推進等、すべての関係の皆様へに御協力に対して、心から感謝を申し上げます。

しかし、先ほど三科さんからありました、新規陽性者数がある程度高い水準で横ばいという、まさに初めての経験をしている中で、いよいよこれからゴールデンウィークを迎え、帰省や旅行、会食、さらに様々なイベントが行われ、普段会わない人との接触の機会が増えていくと思ひます。

感染拡大のリスクが高まる懸念もありますので、基本的な感染防止対策をおろそかにせず、常に感染を意識した日常を続けていく必要があると思ひます。

そのためにも、本日決定した事項を着実に実施していく必要があると思ひます。

この後の記者会見にて、私の方から、府民の皆様なり、事業者の皆様へは直接呼びかけて参りますが、次の2点について、関係部局には万全の対応をお願ひしたいと思ひます。

まず何といつても、重症化予防、感染予防に効果のあるワクチン接種。希望する方にできる限り速やかに接種していただけるよう、関係部局と連携して取り組んでいただきたい。

2点目に、本日決定した内容である感染を広げないための基本的な感染防止対策を着実に実行できるよう、府民や事業者の皆様、市町村、関係団体等に対して、幅広く、また丁寧に広報や御説明をしていただき、多くの皆様へに御協力をいただけるよう進めていただきたいと思ひます。

いずれにしても一定の感染者数がある中で、ゴールデンウィークを迎えます。各部局においては、先ほど示しました医療提供体制の休日の対応や部局間の連絡体制、その辺りも改めて再確認をしていただき、万全の体制でゴールデンウィークに臨んでいただきたい。

私からは以上です。

【危機管理監】

関係の部局長におかれては、指示事項を踏まえ、万全の取り組みをお願いします。

松井議長、三科危機管理監におかれては、お忙しいところ御出席をいただき、誠にありがとうございました。

以上をもって、対策本部会議を終了いたします。